

2018
12月
DEBUT

乾燥するこれからの季節に

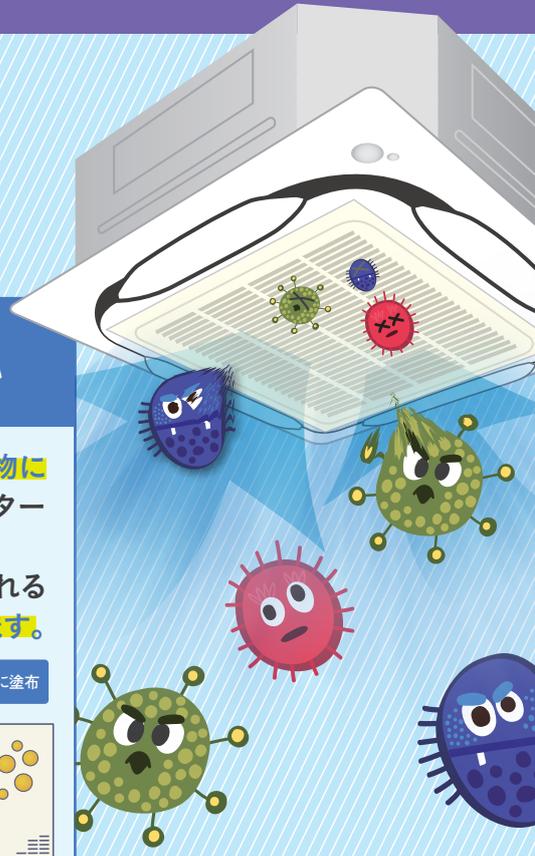
バイオ抗体フィルターで

ウイルスを抑制

11月～3月に感染が多いウイルスは、「飛沫」「接触」「空気」が主な感染経路となっています。
普段の手洗い・うがいでなく、この冬からはバイオ抗体フィルターでトメのブロック！

バイオ抗体フィルターとは？

ダイキン工業が早稲田大学・厚生省国立感染症研究所など7機関で共同開発。
ご使用中のエアコンにペタッと貼り付けるだけで、フィルターに吸着したウイルスを短時間で抑制します。



たちまち抑制

エアコンの空気の吸込口(グリル)に「バイオ抗体フィルター」を貼付けて運転すると、**フィルターに付着したウイルスをスピーディーに抑制**します。※

※「バイオ抗体フィルター」上で捕集したものに対する効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。

バイオ抗体フィルター上のウイルス電子顕微鏡写真

どこでも安心

物理的・化学的方法を用いず、**生物に自然に備わる免疫反応**をフィルター上で再現。
お子さまやお年寄りの方が過ごされる空間にも**安心してご利用いただけます。**

抗原を持つ鶏の卵から卵黄を採取

遠心分離機にかけ、水溶性タンパク質を採取

フィルターに塗布

片面が粘着タイプのフィルターなので、取付はそのまま貼るだけで簡単！

豆知識 ウイルスは「3つの感染経路」に対しての**予防が必要です。**

「飛沫感染」や「接触感染」は、マスクや普段からの手洗い・うがいで予防をすることが可能です。
しかし、長時間に渡って空気中を浮遊しているウイルスによる「空気感染」は日常での予防が難しく、特にこれからの季節は、暖房による乾燥した密閉空間においての注意が必要となります。
空気中のウイルスは、しつどが50%以上になると生存時間が短くなるので、加湿をしっかりとこなうことも、感染予防にはとても大事です。

1 飛沫感染
咳やくしゃみなど

マスクで予防

2 接触感染
ドアノブや手すり、つり革など

手洗い・うがいで予防

3 空気感染
空気中に浮遊しているもの

加湿で予防

この冬は！
普段の予防にプラスして、バイオ抗体フィルターでウイルスをブロックしましょう！

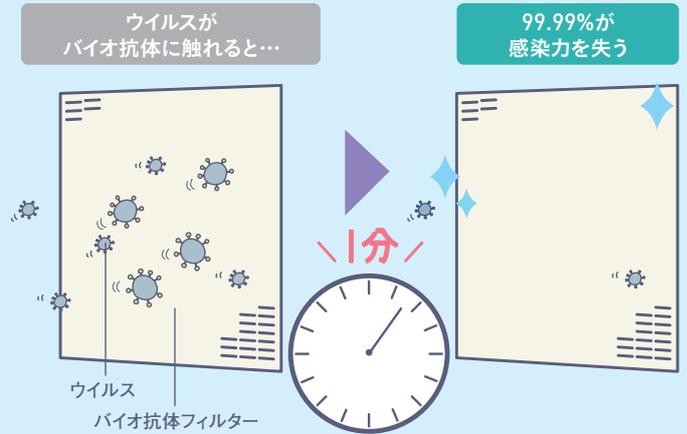
様々な評価方法で効果が実証されています

抗ウイルス評価結果 -キャッチして抑制-

評価結果 特定のウイルス(3種類)がバイオ抗体に触れることで、1分以内に99.99%が感染力を失うことが確認できました。

評価方法 1.バイオ抗体と3濃度のウイルス溶液を混ぜる。
2.一定時間後にウイルス溶液を回収し、ウイルスの抗原性をELISA法により測定する。

【試験機関】早稲田大学理工学術院、株式会社ゲン・コーポレーション

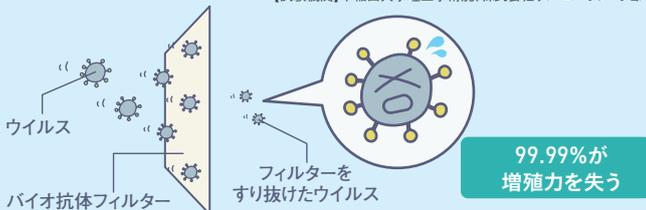


抗ウイルス評価結果 -すりぬけても抑制-

評価結果 特定のウイルス(3種類)がバイオ抗体に触れることで、99.99%が増殖力を失うことが確認できました。

評価方法 1.バイオ抗体フィルターにウイルス溶液を3分間噴霧する。
2.バイオ抗体フィルターをすり抜けたウイルスを溶液に回収し、10倍ずつ希釈し、希釈液を鶏卵の漿尿膜に接種・継代する。
3.鶏卵の漿尿膜液中のウイルスの有無を赤血球凝集法により確認する。

【試験機関】早稲田大学理工学術院、株式会社ゲン・コーポレーション

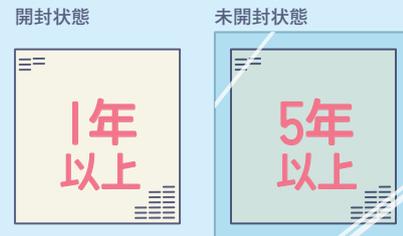


バイオ抗体1年持続の実証

評価結果 バイオ抗体フィルターを開封状態で1年以上、未開封の包装状態で5年以上、抗体活性が維持されることが確認できました。

評価方法 1.バイオ抗体フィルターを開封状態、包装状態で室温・遮光保存する。
2.開封状態では1か月ごと、包装状態では1年ごとに、ウイルス抗原との反応性をELISA法により測定する。

【試験機関】聖徳大学人文学部人間栄養学科



■仕様

商品名	バイオ抗体フィルター	
寸法(mm)	W545×D555×H0.2	
風量(m³/s)	弱	-2.2%
	強	-4.9%
	急	-4.0%
製品質量(g)	17.6	
定格風速(m/s)	2.5	
初期圧損(pa)	21	
最終圧損(pa)	45	
捕集効率(%)	57.5%	

・使用を続けるとゴミやホコリの色素が付着し黒くなりますが、効果に影響はありません。気になる場合は交換ください。
・使用環境により異なりますが、一般的な事務所等2~3ヶ月が交換目安となります。
・効果を保証するものではありません。

ダイキン工業株式会社 サービス本部